

第4回 地域福祉・在宅療養に関するアンケート

実施期間：7月29日（金）～8月7日（日）

回答者数：158人

【1】日常生活の悩みや不安について、家族や親族以外に相談できる人、または相談できる場所がありますか？

※友人や知人、隣近所、自治区、民生委員、社会福祉協議会、市役所、地域包括支援センター、子育て支援センター、病院・診療所、福祉サービス事業者、ボランティアやNPOなど。

相談先がある	82
相談先がない	44
相談はしない（相談する必要がない）	32

【2】各支所（上郷、猿投、高岡、高橋、松平）に設置されている「福祉の相談窓口」を知っていますか？

※福祉の相談窓口…身近な相談窓口として地域のすべての人を対象に、困りごとの相談を受け、支援機関につなぐため、市が各支所（上郷、猿投、高岡、高橋、松平）に設置した相談窓口。

設置されたことを知っていて、利用したことがある	3
設置されたことを知っていて、概要も知っているが、利用したことはない	8
設置されたことは知っているが、概要は知らない	24
設置されたことを知らない	123

【3】お住まいの地域に「身近に集える場所」はありますか？

※地域の施設（区民会館等）、身近な公共施設（交流館、子育て支援センター）、友人・知人宅、身近な公園、喫茶店等の飲食店など。

ある	107
ない	51

【4】普段のコミュニケーション手段として、どのような情報通信機器をお使いですか？（複数選択可）

固定電話・FAX	42
携帯電話・スマートフォン	149
タブレット型端末	29
パソコン	61
その他の通信機器（インターネットに接続できるテレビ、ゲーム機等）	2

【5】あなたは、生活の中で、隣近所の人にどのような手助けや協力をしてほしいと思いますか？
(複数選択可)

話し相手や相談相手になってほしい	29
声かけや安否確認をしてほしい	33
力仕事の手伝い（大きなごみ出し・電球換え・庭掃除等）をしてほしい	7
家事の手伝い（掃除洗濯・日常のごみ出し・料理等）をしてほしい	5
外出の付き添いや送迎（買い物・通院等）をしてほしい	4
自宅等での短時間の付き添い（見守り）をしてほしい	5
子どもの預かりやこども園等への送迎をしてほしい	11
子どものスポーツや遊びの相手になってほしい	14
犯罪防止活動・交通安全活動（地域の見守り等）をしてほしい	47
災害時の手助けをしてほしい	62
その他	3
特にない	46
隣近所の人がない	0

その他

上記の中には将来的にしてほしいと思うだろうことがあるが、今のところは不要
干渉しないで欲しい。
留守中の見守り

【6】あなたが隣近所の人に対して手助けや協力ができることはありますか？（複数選択可）

話し相手や相談相手	63
声かけや安否確認	86
力仕事の手伝い（大きなごみ出し・電球換え・庭掃除等）	26
家事の手伝い（掃除洗濯・日常のごみ出し・料理	17
外出の付き添いや送迎（買い物・通院等）	13
自宅等での短時間の付き添い（見守り）	22
子どもの預かりやこども園等への送迎	18

子どものスポーツや遊びの相手	15
犯罪防止活動・交通安全活動（地域の見守り等）	43
災害時の手助け	63
その他	1
特にない	30
隣近所の人がない	0

その他

コロナが収まればできることが増えますが、今は怖くて外出もあまりできないので。
--

【7】各地域では、様々な地域活動があります。あなたは、今後、地域活動に参加したいと思いませんか？

※ここでは、「地域活動」を、自治区の活動、高齢者クラブ、地域の行事の手伝い等の身近な地域での、主に地縁による活動とします。

ぜひ参加したい	12
条件によっては参加したい	102
身体的な都合で参加できない	8
参加したくない	36

【8】あなたは、今後、ボランティア・市民活動やNPO活動に参加したいと思いませんか？

※ここでは、「ボランティア・市民活動やNPO活動」を、問7の「地域活動」以外の社会的な課題の解決等に向けた、自発的な活動とします。

ぜひ参加したい	7
条件によっては参加したい	111
身体的な都合で参加できない	8
参加したくない	32

【9】孤独・孤立問題の対策として、どのような支援があると良いですか？（複数選択可）

相談先や居場所・交流の場の情報提供、情報発信を充実させる	62
身近な場所に相談窓口を設ける	53
身近な場所に居場所・交流の場を設ける	72
インターネット等を活用した交流ができるよう、デジタル機器の使い方の支援を行う	32
地域やボランティアなどによる訪問、見守りを行う	68
人と人が知り合う（つながる）機会を設ける	80
その他	2
特にない	6

その他

情報を伝えても、消極的な人はなかなか来ないと思う。自宅まで迎えに行き、連れ出してあげて最初の1歩を踏み出せるようにしたいが、拒否があればそれまでかもしれない。
仕事を与える。

【10】 支援を必要としている人を見つけ出すアイデアがあれば教えてください。

※支援対象者を把握できれば、様々な機関との連携や制度の利用により支援することができますが、その対象者を最初に見つけ出すことが非常に難しい状況です。

やはり、民生委員の働きが重要だと思う。
金融機関
個人の家庭の状況などを知ろうとするのは難しいと思う。個別に聞いて回る人が必要です。
対象者から問い合わせしてもらえるように、スーパーや病院などにチラシを設置する
支援を必要な人は自発的に声あげられない人だと思うので、情報を発信し続けて、声を上げる事への恐怖や心配や不安を和らげるようになっていくしかないのでは。
思い当たらない。
まずは親族がアプローチする
地区での情報共有、情報収集
個人情報の保護が行き過ぎていて、なかなか地域の情報も掴めないのはいかがなものかと。
普段から交流することが重要と思うが、地域と交流しようという人が限られている。
家庭を訪問して声掛けを行い、話の中で見つけ出す
支援が欲しい家庭は、ヘルプマークのある旗を道沿いに立ててもらおう。でも詐欺の犯罪に合いやすくなりそう。
高齢者や育児者へのヤクルトの見守り訪問
隣（やごく近所）同士関心を持つことしかないと思う。今は支援が不要でもいつ自分もそうなるかわからない。特に大規模災害でも起きればみんなが要支援者になる可能性はある。そういう意識、想像力を持てるようにし、自然に周りへの気遣いもできるようになるのがベスト。
地域の回覧板で支援の申し込み用紙を配布し、支援を必要としている人に要望を記入してもらおう案はいかがでしょう。
国勢調査や地域のアンケート等で、住民を把握。お祭りや地域の活動での交流時に聞き取りや話題を出す。

警察による見回り巡回
新聞配達の方などに協力をお願いする
近所付き合いに尽きると思います。
普段から付き合いがないと難しいと思う
市役所、交流館、病院に困り事投函BOXをアンケート的な形で置いてみる。
民生委員等が役目ながら、各老人の居る家庭を訪問して状況を把握する。そしてしかるべき所へ協力の相談をする
身内からの報告
市の職員が特にご高齢の方に対して、定期的に訪問、電話して話を聞く。
自治区でアンケートなどを各家庭に配り、何に困っているかを把握する
本人より周囲の方が声を上げやすいと思うので、あそこの家の人支援が必要かな？って思ったら連絡できる場所があるよっていう地道な啓発活動
SNSとか。
支援を必要としている人を見つけ出すという観点とは逆に、支援を必要とする側の立場の方々へのサービスの周知をより推進していただきたいです。以前、障害福祉の施設でパンフレットが配付されましたが、パンフレットだけではサービスの内容が分かりにくく、説明を受ける機会がほしいと感じました。
近所の人からの情報
屋外の散歩時に、人の観察に気を付けてみる習慣を身に付ける。普通と変わった異常なる行動わないかとか観察することで発見につながるのではと思います。
インターネットを介した相談窓口。
口づてで一人暮らしの方を聞き、その方を訪問する。
日頃の近所の人などとのあいさつ、声かけ
細かな頻度での確認はできないが、各自治区の組長はある程度近隣居住者の状況を確認できるのではないかと思う
広報に毎回掲載する。市役所や公民館などにも掲載する。市役所の封筒や郵送するときの封筒とか。みんなが目にするところに困り事ないですか？とか書いてあるといいのかな？と思う。
自治区の方と市役所との連携
アンケート

本人からはなかなか申し出は難しいので、周りの人から情報を募る
自治区が支援対象者や生活困窮者の情報を持っていますが（助けてくれ～）とは言わない。民生委員も担当範囲が広く個々に踏み込んで対応していません。市公認の市民生活支援員のような組織を作り10人程度を担当するようにすればきめ細かな支援が可能です。
ブロック、組単位に名簿をもとにブロック長、組長に住民の近況を聞いて対象者を割り出す。
兎に角、近所でのコミュニケーションを如何に増やすかにかかっていると思う。
地域自治会との連携
助けて欲しい人は自分から探し動き出しますが、情報提供で終わるとなかなか問題の解決まで至らなかつたり、結局自分次第の人生なので、支援のありかたがマッチングしてないのが現状ではないでしょうか？
意外と支援を必要としている人について、気づいている場合もあると思います。隣近所との関係が希薄になっている昨今の状況から、気づいても、煩わしく思われなかつと見て見ぬふりをしている場合もあるように思います。支援を必要としている人を見つけたら、どこに連絡をしたらよいか、広くアナウンスし、気軽に連絡できるような仕組みがあればよいと思う。
住民の当番制で声かけをしたらいいと思う
最近見かけない近所の方がいた場合の報告できる窓口。明らかに認知症で老老介護をしている家庭の報告できる窓口。本人からSOSを発信できないんだから、回りの目が気がついて、気楽に連絡出来る窓口があれば良い。
自分では声をあげにくいですが、近所の人達は色々知ってる事が多い為色々な方からの声を聞く。

【11】在宅療養について知っていますか？

※在宅療養とは、住み慣れた自宅等で、訪問診療や訪問看護、訪問介護などの様々な医療・介護サービスを受けながら日常生活を送ることです。

在宅療養の内容をある程度知っている	64
在宅療養の言葉だけは聞いたことがある	77
知らない	17

【12】あなたが病気などを抱えたことを想定し、今後の生活について考え、家族等と話し合っていますか？※病気は、特に長期療養や見取り段階のことです。

話し合っただけで記録に残している	0
話し合いはしている	30
考えているが話し合いはしていない	82
考えていない	46

【13】高齢になり病気などを抱えたことを想定した場合、どこで医療・介護サービスを受けたいですか？

自宅等（現在の住まい・家族の住居）	50
介護保険の施設（特別養護老人ホーム等）	66
病院	38
その他	4

その他

どのような病態かなどによって居たい場所が違う。
自宅が望ましいと思いますが、病気の程度や年齢によっては介護施設にお世話になりたいと思っています。
お金があれば老人ホーム家族に迷惑かけたくないから。
その時による

【14】高齢で病気などを抱えたことを想定した場合、人生の最期はどこで迎えたいと考えますか？※病気は、特に長期療養や見取り段階のことです。

自宅等（現在の住まい・家族の住居）	78
介護保険の施設（特別養護老人ホーム等）	28
病院	44
その他	8

その他

わからない
ホスピス
自宅が理想だが、家族に負担をかけたくないので病院の方がいいのかなと思う。
自宅が良いが公的なサービスを受けたとしても無理となるように思われる。結局、介護施設となる。
家族がすぐに来て、世話をかけなくていい場所。
終末期ケアをしている施設
考えた事ない
その時による